



学校便り

だしる

自主・向学・協調・練磨

錦江町立田代中学校

令和6年3月12日発行

合い言葉 **やればできる**

道は自分でつくる

校長 土岐 邦寿

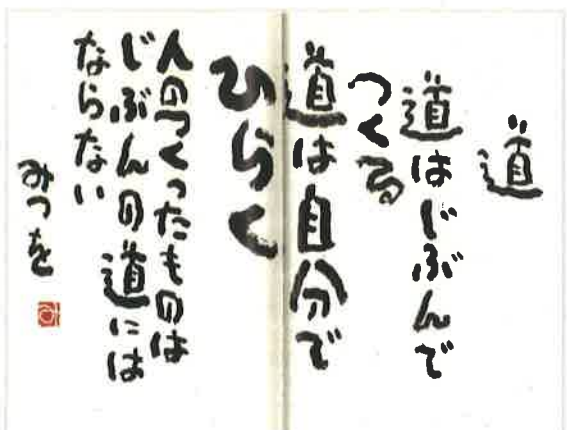
三年生が田代中学校を巣立つ日がやってきました。卒業おめでとう。13人の門出を祝して、メッセージを書きたいと思います。

田代中学校に赴任して約一年になりますが、初日のことを今でも覚えています。自動車で根性坂を上がっていくと、生徒が立ち止まり、運転席の方を見て頭を下げ挨拶をします。それも一人ではありません。すべての生徒が自然に行っているのです。本校の学校自慢は、①元気の良いあいさつ②ノーチャイム③歌声の響き渡る学校④早朝ランニングです。この4つが昔から受け継がれています。三年生が手本を示し、その後ろ姿を一年生が見て成長していきます。それを生徒会が中心となって活動しており、後輩にバトンパスをしようとする姿に幾度と感動しました。

田代中学校のキャッチフレーズは「やればできる」です。TJKをはじめ、学校の行事や町のイベント、かごしま国体のボランティアなど積極的に取り組んでくれました。新しいことにチャレンジすることにより、一回り大きく成長した自分に出会うことができます。この「やればできる」に後押しされて前進しているのだと思います。

学校を盛り上げてくれた三年生にどんな言葉を贈ろうかなと考えていました。私の好きな書家・詩人に相田みつをさんがいます。30年前、初任校である大根占中学校で先輩教諭から詩集を見せてもらったのがきっかけです。温かみのある文字の中に、人間の本心をつく言葉がちりばめられていました。すぐに虜になり、書店に行き、詩集を買いそろえました。その後、新婚旅行で相田みつを美術館に行き、直筆の書を夫婦で見ると感動したのをいまだに覚えています。本校図書室にも蔵書がありますので、ぜひ手に取ってご覧ください。

今回、どんな言葉がいいかなと改めて読み直しました。目にとまったのが「道」です。人生の道は自分で作らないといけません。もし、経験したことのない状況に出会ったら、自分で切りひらかなければなりません。他人が作ってくれた道は楽に通れるかもしれませんが、自分の道にはなりません。失敗しても、他人のせいにして改善されないまま時は流れていきます。自分の未来は自分で切りひらく、前に道はなくても、後ろを振り返れば自分の道は立派にできています。今まで、田代中で培ったことを活かし、一步一步前進してほしいと思います。これからの人生に幸多きことを祈念いたします。



相田みつを著「ある日自分へ」(文化出版局刊)より

○ 相田みつを美術館

今回、卒業生に向けて、「道」を紹介したいと相田みつを美術館に依頼し、掲載の許可をいただきました。関係者の方々、感謝申し上げます。